

現在の参議院議員議席数

与党勢力 139		野党勢力 103	
非改選 60	改選 79	改選 42	非改選 61

私は、格差の是正・官僚主義の打倒・公正な競争・多様性を認める社会を作ることをめざして活動してきました。しかし、残念ながら、日本の政治はまったく正反対の方角に進められています。

今の『格差社会』は自民党政権の政策で作られたもので、日本の国会では、議案が衆議院で通過しても参議院で否決され

参院選で与野党逆転が実現したら

上の表は現在の参議院の議席です。参議院の与野党逆転まであと19議席。決して不可能な数ではありません。

もしも、参議院で与野党が逆転したら、予算以外の議案を廃案にできません。

日本の国会では、議案が衆議院で通過しても参議院で否決され

鍵を握るのは市民

政治が大きく変わるとすれば、それは選挙の前後。自民党の暴走を止め、政治を変えるチャンスが07年です。

07年はまさに大決戦。私も全力をつくして頑張る覚悟です。みなさんのご協力をお願いします。



盛岡市議会議員

いせ志穂 (市民会議)

事務所 盛岡市青山3-29-4 〒020-0133

電話・FAX 645-8510

自宅 盛岡市前九年1-9-26 〒020-0127

http://ise.nahan.jp/ E-mail:ise@nahan.jp

決戦！二〇〇七年

国家財政が破綻寸前であることを理由に、政府は増税・社会保障の切り捨てを公然と開始しました。しかし一方では、高額所得者に有利な税制が放置されています。二〇〇七年は盛岡市では市議選をはじめ、すべての選挙がある年。市民・国民のための政治を!!

政治がもたらした格差拡大

特集記事をごらんください。政治によって作られた格差は、政治を変えることで解決できるはずです。

ば、もう一度衆議院に差し戻しになります。三分の二以上の賛成がなければその議案は可決なりません。『禁じ手』になる可能性が高いのです。

参院選での与野党逆転は、憲法改正や消費税などの税制の変更をはじめとして、重要法案の決定に大きな影響を与えることになります。

伊勢志穂のあゆみ

市民参加で改革を

みなさんと協働で成果を残すこともできました。引き続き、要望、ご相談などお気軽にご連絡ください。

◆一九六二年盛岡市生まれ(44才) ◆厨川小、厨川中、盛岡三高、岩大教育学部特美(中退) 岩手生協でパート後岩手アイワに勤務 ◆99年盛岡市議当選、現在二期目 ◆02年岩手にホスピス設置を願う会結成に参加、現在事務局員 ◆03年市議会公派、議会改革フォーラム結成 ◆03年盛岡市長選に斎藤純さん擁立 ◆06年城西中PTA会長 ◆全国の無党派議員と連携し、新しい市民の党をめざす ◆当面の目標は政権交代 ◆05年たつそ拓也氏、06年こう祐一氏(神奈川補選) など全国を走り回り応援 ◆椎間板ヘルニア克服のために乗りはじめた自転車にはまりつつある ◆ストレス解消法は入浴中の読書と菓子作り ◆B型

情報公開

◆議員の政務調査費領収書添付義務を実現(02年) ◆ホームページで議会の審議状況を公開。議案、請願への賛否情報を含め、もつと議会も情報公開をすべきと主張。インターネット規制を断念させる(01年) ◆住基ネットに反対。重大事態の際は切断すると市から確約をとる(02年)

くらし

◆介護保険料の減免を主張(99年) 一部実現 ◆児童を犯罪から守るよう公園の剪定を要望、実現(01年) ◆チャイルドライン設置のため活動中 ◆人質事件の際、イラクから自衛隊撤退を求め署名活動(04年) ◆磐井病院・孝仁病院にホスピス設置、ホスピスボランティア講座開催(06年) ◆六ヶ所村核燃再処理工場操業停止を求める(06年)

街づくり

◆肴町プール存続運動に協力(00年) ◆八幡番屋の望楼の保存に協力(02年) ◆ゾーンバス・青山新駅市民アンケート調査、四千件。(02年) ◆青山町覆練兵場(05年) 岩手川工場跡地(06年) 保存に協力 ◆市民・行政協働で青山新駅駅舎建設を企画(04年から) 市民によるレンガタイル貼りを実現(06年) ◆車中心の道路建設を改め、歩行者・自転車交通の充実を要望、盛岡自転車会議に参加(06年)

行財政改革

◆議員の政務調査費値上げに反対し、実現(01年) ◆マリオスへの補助金約六億円を中止させる(01年) ◆築川ダムの中止を求め活動、利水事業縮小達成 ◆市職員の給与引き下げ条例に賛成、可決(02年) ◆市長の退職金、大幅減額実現(03年)

お手伝いください

いせ志穂事務所と市民会議はボランティアとカンパで運営されています。このニュースを知人に見せてください。ポスティングなどお手伝いいただける方は、ぜひご協力をお願いします。



カンパのお願い

議員歳費の多くを活動につぎ込んできましたが、やるべき事が増える一方、議員歳費を減額。それにともない赤字が続いています。このご時世大変心苦しいお願いですが、カンパもよろしくお願いします。

郵便振替口座 02230-8-52327 伊勢志穂



格差拡大は政治が原因

本当にお金がないのか

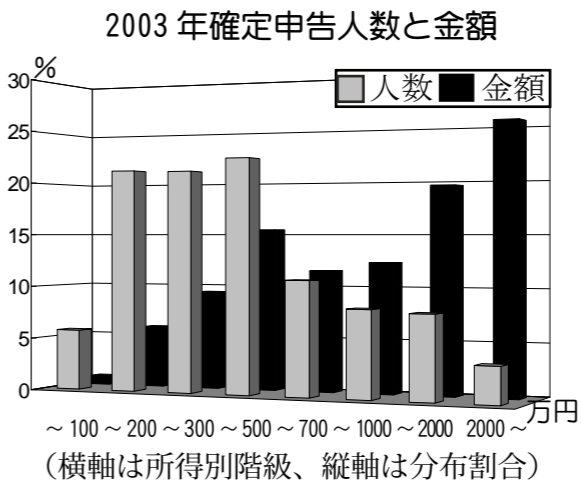
「去年より多額の税金が請求されている。間違いではないか」
 今年の春、何人かの高齢者の方から悲痛な声がよせられました。これは、今春から老年者控除が廃止されたからです。政府は財政危

機を理由にしていますが、本当に庶民増税が必要なのでしょうか。

上は〇三年に確定申告をした約七〇〇万人の所得ごとの人数と金額を示すグラフです。所得二百万円以下（給与とおよそ五百万円以下）は人数で27%を占めているのに、金額では全体の7%、一方、高額所得者（所得二千万円以上）の人数は、全体のたった3%なのに所得では25%を占めています。庶民の所得が目減りしている中で、これだけの格差が生まれています。

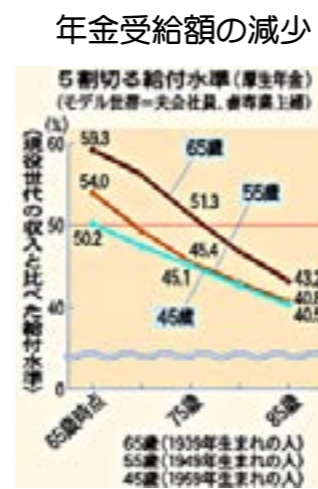
格差を生み出す税制

所得格差がこれほどまで開いてしまったのは、一九八四年から高額所得者を優遇する税制改革が続けられているからです。一九七〇年までの税制は、高額



縮められる社会保障

増える負担・縮む保障



控除の廃止で国民健康保険や介護保険料も引き上げ。二〇〇八年からは、七十〜七十四歳の医療費自己負担額が増やされ、七十五歳以上の高齢者が個人加入する医療保険が新設されます。（原則として加入者全員が保険料を支払う）リハビリや介護機器の貸出は制限され、病院の療養ベッドは現在

の3分の2まで減らされる計画。年金の受給額も減らされ『最低限度の生活』を保障する生活保護も、保護費の基準額が引き下げられようとしています。

障がい者も…

盛岡にも、障がいを持っている子どもも一緒に保育する学童や、障がい者の就労を増やしている作業所があります。彼らは、同じ年頃の子どもたちと過ごす時間を持

人への補助金全廃などを行なう必要があります。

総合累進課税の徹底で約十八兆円の増収、事業・経費の見直し（特殊法人を含む）で経費を30%削減すれば、財政再建できます。

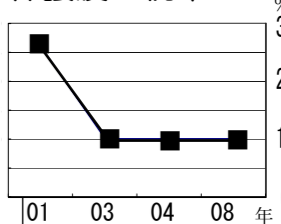
国民のための政権を闘う市政を

前述のような税制改革・行政改革を実現するためには、まず、政権を変えなければなりません。07年は選挙、決戦の年。

このチャンスを利用して、国民の利益を第一に考える政権の実現をめざしましょう。参院選での与野党逆転がその第一歩になります。

それと同時に、国の横暴と闘う市政をつくっていく必要があります。

株譲渡の税率



加えて、グ
 ラフのように
 株式売買など
 の譲渡税も大
 幅な減税（26
 %↓10%）を
 しています。

おもな国民負担

04年・配偶者特別控除廃止
 05年・老年者控除廃止・公的年金控除の縮小・消費税、事業所減免額の引き上げ
 06年・定率減税縮小・前年の所得が125万円以下の高齢者の住民税を08年まで段階的に引上げ
 07年・定率減税の廃止・同族会社主宰者の役員報酬を損金不算入へ・フリーター住民税課税強化

『共存』のための政治に

お金持ちと官僚のためだけの政治を変えよう

政府は不況による財政不足や少子高齢化を増税や社会福祉切り捨ての理由にあげていますが、不公平な税制やいまだに続く外郭団体への天下りを見れば、これが詭弁であるの一目瞭然。ごく一部の

お金持ちと官僚の利権を守るために多くの国民の生活と生存権を切り捨てようとしているのです。障がいがある、高齢である、病

累進課税の徹底と行政改革の断行で

税金の取り方を変えれば、財政再建を進めながら所得格差を縮小し、個人消費をのばすことができます。

①株取引などに適用されている分離課税を廃止し、所得税は総合累進課税とする。
 ②所得二千万円以上には課税段階を増やし税率を引き上げる。

同時に、官僚の天下り禁止、人件費削減、事業の見直し、特殊法

ボランティアにご協力を

『ひもつき』議員や首長では、この改革はなしとげられません。私は、ボランティア選挙を広げ、党派「議会改革フォーラム」を増やし、参院選勝利、解散総選挙へ向け、国民のための政治のスタートに向け、全力でがんばります。

ぜひボランティアにご参加ください。よろしくお願ひします。